

放課後等デイサービスガイドライン自己評価表

回答率

事業所職員： 4名回答、回答率 80%
保護者様： 20名回答、回答率 83%

職員の意見

○環境・体制整備

- ・人員として少ないが、他教室からのヘルプで賄い、業務を行っている。しかし、既存の北葛西職員が少ないので業務の負担や、児童の負担もあり、定着が求められる。
- ・建物の構造上、バリアフリーにはなっていないが手すりは付いている。必要とされる児童も今のところ在籍していないため、必要と判断された場合は三角板を挟むなどの対応を検討。

○業務改善

- ・第三者評価は教室としてではなく会社として受けており、他教室に関しては実施指導監査も受けている。
- ・管理者の交代に伴い、児童や保護者の負担にならないように意識してきた。
- ・出勤日の関係で、非常勤職員も交えた会議を行うのが難しい。検討の余地がある」といったようなわかりやすさが欲しい。

○適切な支援の提供

- ・よりきめ細やかなサービスを行っていくためには人員の定着が必要。
- ・分業制度として仕事の割り振りを行ってきたが、チームでもっと話し合いの機会が持ててもよかった。

○関係機関や保護者との連携

- ・公共施設、学校の文化祭、施設祭り、老人施設などに行き、地域の方とのふれあいを経験していきたい。
- ・学校や他放課後等デイサービスなど必要があれば関係者会議などで情報を共有し、支援の輪を作っていきたい。
- ・ペアレントトレーニングに関しても必要があれば助言をするなど行ってきたが、今後もよりサポートが出来るように勉強を重ねていく。
- ・就学前に関してはアセスメントを通して引継ぎを行った。また、就労の記録はない。同会社の教室を利用の場合はどちらも資料や関係者を通して引継ぎを行っている。

○保護者への説明責任等

- ・非常時対応や虐待マニュアル、新人向け対応マニュアルなどがあるが、外部に周知が出来ていない。その為、見える化が必要と感じる。

○非常時等の対応

- ・マニュアルの把握について、非常勤職員も常勤職員と同じように把握できておらず、改めてマニュアルの周知徹底が必要。

保護者様のご意見

○環境・体制整備

人間的な部分で心配されている方が少なからずいらっしゃる一方で、対応に関してはご納得いただいているという回答が多くありました。教室のスペースに関しては90%の満足度という結果になりました。

○適切な支援の提供

個別支援計画に関しては以前よりも具体的な内容で記載がされているとのコメントを頂いております。プログラムなどの工夫に関しては95%の満足度を頂いておりますが、障害のない子との触れ合いの機会に関しては少なく、今後の課題になっております。公園、図書館など公共の場に行くことで、いろいろな方との触れ合いを広げて行きたいと考えております。

○保護者への説明等

支援の様子や、サービス内容の説明などの満足度は高く90%以上を推移しております。保護者会への皆様の参加のしやすさや、HPの充実など今後、施設内をより見える化して欲しいというご要望もあり、対応させていただきたいと思っております。また、苦情に関しても対応窓口を明確化し、ご安心頂けるように体制を整えていきます。

○非常時等の対応

災害時、防犯、支援、虐待防止など各種マニュアルは整備されているのですが、保護者の皆様の目に触れる機会があまりなく、そういった部分も見える化は必要と思われました。保護者会などでご覧になれるように対応させていただきます。

○満足度

いつもニコニコで帰宅するので大変ありがたいなどのお言葉を頂いておりますが「はい」の部分が80%でした。次年度に関しては100%になれるように頑張っていきたいと思っております。

昨年度の振り返り

○今年度の取り組む具体策

- ・スタッフ間での情報共有の強化（ミーティングノートの積極的活用、送迎表での周知）
- ・保護者への了解の元、外部機関、施設との関わりを増やす。
- ・家庭、学校、スマートキッズの三者で一貫した支援を行う。
- ・災害時対応についてはお便りなどで周知を図る。
- ・送迎時は児童の様子をお伺いするだけでなく、ご家庭での様子などを伺い相談しやすい関係性を作っていく。

○改善できた点・まだ残る課題

・公共の施設としては図書館に出かけてはいるが、他者への接点という意味では正直あまり行えていない。また、災害時対応のマニュアルなどの周知や避難の行い方に関しては保護者会などで再周知を図る必要があると感じた。ミーティングノートを積極的に活用したり、送迎表を介して児童の引継ぎを行うことは出来ている。また、ご家庭への傾聴や、ご家庭、学校への支援の連携、助言なども必要があれば行ってきた。



アンケート結果からみる教室の強み・改善点

○教室の強み

- ・他教室にない教室のスペース
- ・支援の柔軟さ。幅の広さ。
- ・専門知識の広さ(悩んだ場合は心理士や品質管理課への相談が出来る。)
- ・活動の多様性。(調理、課外を始め、いろいろな経験が出来る。)

○改善点

- ・職員の定着化、充実を図り、良質な支援を提供できるように環境を配備致します。
- ・今後も児童へ何が必要なことなのかを考え、勉強し、どの子にも適切な支援と、楽しめる場作り、また保護者の方々へのフォローなども行っていきます。
- ・災害マニュアルを始め、普段職員だけが閲覧している書類や支援内容を保護者会やHPを通して「見える化」し、皆様の疑問にお答えしていきます。
- ・外部機関、施設外の方との触れ合いの場を設けていきます。



中長期的な改善計画・1年間で取り組む具体策

○中長期的な改善計画

- ・人員の強化。(職員の安定と支援力の強化)
- ・保護者会でのマニュアル見える化。災害時対応周知。
- ・苦情窓口の明確化。

○1年間で取り組む具体策

- ・人員の安定化を図り長期で働ける人材の育成をしていき、環境を配備していく。
- ・支援力の向上により、児童の笑顔を引き出しスマートに行きたいともっと思ってもらえるような環境づくりと、療育の質を上げていくことで満足度100%を目指す。
- ・施設祭りなどの情報の獲得をし、地域の施設祭りなどに積極的に参加。他施設とのコミュニケーションを確立していく。
- ・安定したブログ更新をすることで、教室の見える化に取り組む。

スマートキッズ